

● 診療科の特色

1. 皮膚腫瘍の診断・治療 : ダーモスコピー、皮膚超音波検査などの非侵襲的検査や生検によって診断を行います。疾患によっては他施設と連携して遺伝子診断も行います。特に悪性腫瘍では、画像診断や早期のリンパ節転移を同定するセンチネルリンパ節生検などを用いて、病状や進行度を正確に把握したうえ過不足のない適切な治療をこころがけます。外科的治療が中心となりますが、病状に応じて放射線療法、化学療法も適用します。進行期の悪性黒色腫などでは分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療も行います。
2. 皮膚外科手術・処置 : 外科的治療を要する皮膚疾患の治療に積極的に対応しています。良性および悪性の皮膚腫瘍、母斑、重症軟部組織感染症、膿皮症、などが適応となります。
3. 難治性皮膚疾患(自己免疫性水疱症、乾癬、掌蹠膿疱症、脱毛症、など)の診断・治療 : 視診に加え、皮膚病理組織検査、蛍光抗体検査、血清学的手法などで診断します。遺伝性皮膚疾患では他施設との連携のもとに遺伝子診断を行うこともあります。疾患によっては薬物療法のほか理学療法(紫外線療法:PUVA, narrow-band UVB, エキシマライト, など)も併用して治療します。従来より重傷乾癬、関節症性乾癬、などでは生物学的製剤や分子標的薬による治療が行われていましたが、最近では重症じんま疹、重症アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎、結節性痒疹など様々な難治性皮膚疾患に対しても生物学的製剤や分子標的薬の適応が広がっています。
4. 皮膚病変を伴う全身性疾患の診断・治療 : 膠原病、血管炎、血液疾患、など皮膚病変を伴う全身疾患の診断と治療に当たります。しばしば皮疹が全身疾患診断の糸口になります。
5. 他科疾患の皮膚合併症への対応 : 皮膚感染症や薬疹など、他科領域の患者さんに生じた皮膚合併症や皮膚トラブルに対応し、検査、診断と治療を行います。
6. 皮膚科の救急的疾患への対応 : 急性炎症性皮膚疾患、感染症(細菌、ウイルス)、など
7. 新生児、小児皮膚疾患への対応 : 皮膚炎、感染症(ウイルス、細菌)などの一般的疾患の他、遺伝性疾患、膠原病、などの診断と治療に関わります。
8. 皮膚病理診断 : 皮膚病理診断に重点を置き、病理部と連携して正確な診断を心がけます。
9. アレルギー検査 : パッチテスト、プリックテスト、MED(最小紅斑量)測定、など

● 診療実績

1. 主要手術件数(手術室で施行したもの) 年間手術件数:206名

疾患	症例数
良性腫瘍、母斑	112
悪性腫瘍	73
細菌感染症	7
膿皮症	3
その他	11

2. 入院主要疾患 臨床統計 年間入院件数:181 件

疾患	症例数
悪性腫瘍	53
良性腫瘍、母斑	31
細菌感染症	28
ウイルス感染症	17
薬疹、アレルギー	13
熱傷・外傷	6
水疱症、膿疱症	5
皮膚炎・紅斑症・蕁麻疹	4
膠原病、血管炎	3
膿皮症	2
その他	19

3. 特殊検査法・治療

検査・治療	件数
外来処置室での手術	95
皮膚生検	377
紫外線療法	415
ダーモスコピー	312
皮膚超音波検査	239
パッチテスト	13
プリックテスト	4
MED 測定	2

● 研究業績

論文

- 1) 藤澤康弘,浅越健治,増澤真実子,大塚篤司,内博史,松下茂人,秦洋郎,早川和重,古賀弘志,菅谷誠
皮膚血管肉腫
科学的根拠に基づく 皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン 第3版,226-266,2022年6月22日
- 2) 眞部恵子,浅越健治,市川孝治,黒田崇之
脳性麻痺患者に生じた外陰部乳房外パジェット病の治療経験
日本皮膚外科学会誌,26巻,1号,50-51,2022年7月1日
- 3) 芦田日美野,横山恵美,谷口暁彦,梶田藍,浦上仁志,森実真
膿疱化・紅皮症化をきたし急性呼吸窮迫症候群を併発した尋常性乾癬
皮膚病診療,45巻,2号,142-146,2023年2月1日
- 4) Ashida H,Manabe K,Wakatsuki T,Shinno Y,Shimizu S,Asagoe K

Dual liver metastases from advanced genital extramammary Paget's disease and sigmoid cancer:
Gathering each disease status from serum cytokeratin 19 fragment and carcinoembryonic antigen
The Journal of Dermatology,2023 FEB 5

学会発表

- 1) 眼輪筋皮弁,外側眼窩皮弁を用いて再建した下眼瞼基底細胞癌の2例
水田 康生
第 286 回日本皮膚科学会岡山地方会 2022 年 5 月 14 日
- 2) 長期にわたって増大した BCG による尋常性狼瘡の 1 例(続報)
浅田 志乃舞
第 286 回日本皮膚科学会岡山地方会 2022 年 5 月 14 日
- 3) Creatine kinase 値の著明な上昇を伴った丹毒症例の検討
芦田 日美野
第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 2 日
- 4) Anaplastic lymphoma kinase (ALK) 陽性 Spitz 母斑の臨床病理学的検討
石井 芙美
第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 2 日
- 5) 頭部の皮膚悪性腫瘍手術
浅越 健治
第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2022 年 6 月 24 日
- 6) 進行期外陰部乳房外 Paget 病 (EMPD) に大腸癌を合併し双方から肝転移を生じた 1 例
芦田 日美野
第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2022 年 6 月 24 日
- 7) 間欠的に増悪する痒疹様皮疹から Wells 症候群と診断した 1 例
浅田 志乃舞
第 287 回日本皮膚科学会岡山地方会 2022 年 9 月 4 日
- 8) 左上腕に生じ皮下血腫と鑑別を要した脱分化型脂肪肉腫の 1 例
藤本 倫代
第 287 回日本皮膚科学会岡山地方会 2022 年 9 月 4 日
- 9) 先天性巨大色素細胞性母斑に対する curettage の施行例
藤田 周作
第 37 回日本皮膚外科学会総会・学術大会 2022 年 9 月 4 日
- 10) 上行結腸癌に対し pembrolizumab 投与中に水疱性類天疱瘡を生じた 1 例
藤田 周作
第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2022 年 10 月 22 日

- 11) 扁平上皮癌(SCC)と鑑別を要した未分化大細胞リンパ腫(ALCL)の一例
藤田 周作
第 288 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 1 月 14 日
- 12) 発症初期に非特異的な皮下脂肪織炎を合併した多発血管炎性肉芽腫症の 1 例
藤本 倫代
第 288 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 1 月 14 日
- 13) 副作用への対応をしつつ抗結核療法を完遂し治癒に至った Bazin 硬結性紅斑
浅田 志乃舞
第 288 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 1 月 14 日

講演

- 1) 美作医会学術講演会 2023 年 1 月 13 日
岡山医療センターでの皮膚病診療－アトピー性皮膚炎、乾癬、皮膚腫瘍、などに対する新しい治療
を中心に－
浅越 健治

座長

- 1) 第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 2 日
教育実習セミナー「皮膚外科アドバンスコース」(チューター)
浅越 健治
- 2) 第 37 回日本皮膚外科学会総会・学術大会 2022 年 9 月 3 日
一般演題 4 有棘細胞癌
浅越 健治
- 3) 第 288 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 1 月 14 日
一般演題 2:22-27
浅越 健治